

3年ぶりに昭和町防災訓練復活

防災活動内容

福井市みのり1丁目の住民で組織する昭和町連絡協議会(主催)で昭和町公園にて第5回防災訓練(隔年ごと実施)を行いました。コロナ禍の中で開催参加条件として皆様に当日の健康状態を体調チェック表で確認して頂きました。当日は福井南消防署、日本赤十字福井支部のご指導、ご協力を頂き開催いたしました。

訓練の内容は○災害の心得について講義 ○消火器による初期消火 ○土袋の作り方 ○アクアブロック(吸水)取り扱い方法 ○消防小型ポンプ放水に取り組みました。

活動の特徴

この地域は、175世帯で、12の自治会で構成されています。この中には世帯数一桁の自治会があります。木造住宅が密集していて細い路地が多く、少子高齢化が進んでいる事もあり、助け合いの力を高めることを最大の目的としています。

昭和公園は平成7年に建設され同じく地下防火水槽と消防小型ポンプが設置された。平成8年5月より防災組織(前身の昭和防災会)を結成し消防小型ポンプ操作(放水)中心に合同訓練を実施されて来ました。その後、昭和町連絡協議会の元で合同訓練と消防小型ポンプ操作(放水)を年2回、維持向上の為にしています。



福井南消防署の指導 赤十字福井支部の講演



消火器で初期消火訓練



アクアブロック・土のう袋の活用方法



消防小型ポンプの放水実演

第5回昭和町防災訓練 2022. 4. 24(日) AM9:00~AM11:00 昭和町公園 70名参加

活動成果

公園の清掃活動や地域まつり等も防災訓練を通じて顔見知りが増えた事で自治会の垣根を越えて協力を得やすくなりました。この地域は、低地であり、1時間40mmの降雨でも道路が冠水しますので通行止め(許可)や、土のうやアクアブロックを使用されていました。消防小型ポンプ(26年経経過)が、定期に点検・操作の実施で今回も数回で始動しています。

せせらぎ区防災避難行動訓練 (せせらぎ自主防災会)

【避難行動訓練の概要】

日時：2022年6月5日（日） 8時30～

避難行動訓練内容：ホース格納庫内の消火器材使用方法
水を出すタイミング
ホースの片づけ方
地下消火栓の使い方

【避難行動訓練のきっかけ】

昨今、災害が起これば、自助・共助・公助が当たり前の様に言われていますが、自助（自分たちで助け合う）地区の自主防災に関して、区民はできるのか？もし自地区で火災が発生した時、初期消火、消防署に連絡、集まった区民で消火栓から放水できるのか？という思いから訓練を実施しました。



区民の訓練様子（放水合図、接続）



区民の訓練様子（ホースかたづけ）

【地区の特徴と避難行動訓練の活動内容】

- せせらぎ地区は59世帯ありますが、高齢者夫婦が増えています。日中は若い人は勤めに行き不在です。残っている区民で、万が一の活動が求められます。
- 今回の訓練では、46世帯の参加があり、高齢者の参加も多数ありました。
- 火災が起きて、消防車が到着までの（およそ10分間）消火活動の大切さを、区民のみんなと一緒に考え体験訓練をしました。ホースを繋いで自分の家に届くのか？地下消火栓はこんなふうになっているのか？ホースは、こうやって繋いで、こうやって外すのか？など区民の興味深い意見や質問がたくさんありました。

【避難行動訓練の成果と今後の展望】

- 避難行動訓練を通して多くのことを知ることができ、区民の防災の意識が高まったと思います。
- これからも「自分の身は自分で守る」「自分たちの地区は区民で守る」を合言葉に、更なる現実的な災害に直結した避難行動訓練を進めて区民一人一人の防災に対する意識向上に努めていきたいと思っています。

松岡葵3丁目 支えあいマップ

松岡葵3丁目 支えあいマップ



◇概要

支えあいマップの作成

◇作成の経緯

平成30年3月の豪雪時、区内の透析患者が病院に行きたくても車が出られず通院困難となっていたところ、近所の方が除雪にきてくれて病院に行くことができたという話を受け、普段からの助け合いが大事であると痛感しました。そこで区内の有識者に相談をし『支えあいマップ』を作成しました。(左の図 実際は世帯ごとに名前が入っています)

◇取り組み内容

- ・年1回家族構成調査票を全戸配布
- ・報告は任意提出で回収し、小地域福祉委員会で開封する
- ・グラフィック業者に依頼し、マップ化する
- ・小地域福祉委員会委員で共有
- ・毎年調査を行い更新している

*小地域福祉委員会委員：区長・自主防災会長・福祉委員・民生委員・有識者2人 計6人

◇成果と今後の展望

現在進めている個別避難計画や地区防災計画に活かせるものになっています。また、区民の防災意識の高揚にも繋がっています。

今後も地域みんなで支え助けあい、災害にも強い地域力をつけていきたいと思っています。

2021年11月作成 松岡葵3丁目小地域福祉委員会

奨励賞

永平寺町松岡葵3丁目

法寺岡防災だより

個別避難の備えは

できていますか

いきなりの「個別避難」という言葉に身構えてしまいそうですが、日頃から考えておけば、あわてずに済みます。高齢者を避難所に連れて行くときに、歩いていくのか、車に載せていくのか、近所の人の手を借りて行くのか。避難所に行くときに、何を持っていくのか。例えば、いつも親が飲んでいる菓がどこにあるのか、いつも使っている杖はどこに置いてあるのか。季節によっては、どうしても必要な衣類は何か。日頃の生活を具体的に考えれば、それほど難しいことではないと思います。

昨年からは始まった個別避難計画ですが、登録申請のあった方に対して、今年から対象人数を増やして実施致します。登録をするときは、本人、家族から承諾を得て、いろいろな事柄をお聞きすることになります。例えば、個人情報である家族の連絡先や、本人の支援の情報、本人の日頃の生活場所、日課、避難時の持ち出し物品など多くの事を伺い、個人情報として厳重に保管されます。その後実際に災害が発生したという想定で、避難所まで移動する訓練を実施します。先ほど述べた個別避難の備えもこの登録の話しをする中で、いろいろと気づくことがあると思います。登録のときは、御協力をお願い致します。

頁 号
発行年月日
令和4年7月28日
編集発行
法寺岡自主防災会

今、自主防災会の役員は

今年の自主防災会は、四月の車椅子操作訓練の後、七月の避難所開設訓練の準備をしようとしていたのですが、活動内容について変更をして、災害が発生した時にどう対応するかを学んでいます。今は地震が発生した時の情報収集(緊急連絡網の整備) 区民に対して周知する項目の整備等いろいろな意見交換して活動しています。



防災お役立ちコーナー

その一

令和4年の夏号から、しばらくの間区民の方に役立つ防災についての知識をお知らせします。参考にしてください。

備蓄品・非常持出品を準備する
非常持出品は、備蓄品の中から、避難生活に必要なものを選ぶのがよいです。

玄関や寝室など持ち出しやすいところに置いておく
すぐに出せるようにしておく
うにしておく
ましょ
う。背負える袋などにいれておけば、両手が使えて便利です。



自主防災会より

今回のたよりもなかなか難産でしたが何とか作成することが出来ました。区民みんなが安全に生活できるようにご意見がありましたらお願い致します。

松岡御陵地区防災訓練(松岡御陵自主防災組織連絡協議会)

◇訓練概要

訓練日：令和4年7月31日(旧) 午前7時～

災害想定：風水害での警戒レベル4相当

内容：午前7時のサイレン吹鳴で訓練を開始。初めに区民は、班ごとに安否確認(無事旗の確認)をした後、区内の一時避難所に集合してから今回の避難場所である日本商運㈱に避難。日本商運㈱に移動後は、会場内で5つの訓練等を実施する。

- ①初期消火訓練として消火器による模擬消火
- ②火災時避難訓練として濃煙体験
- ③搬送訓練として救護者の模擬搬送
- ④北陸電力送配電㈱による高圧発電機車等の見学
- ⑤町の給水車からの給水実演

◇地区の特徴と訓練内容

当御陵地区は九頭竜川の右岸に位置し、洪水ハザードマップでは全域が浸水区域の状況の中、昨年度、県が推進している地域・企業防災連携事業を活用し地元企業の日本商運㈱さまのご協力をいただき、当協議会と災害協定を結びました。今回は、新しく避難場所となった日本商運㈱の物流センターを地区の皆さまに確認していただくと共に初めて北陸電力送配電㈱から電源車のデモ協力もいただきながら住民体験型訓練を行いました。

◇訓練の成果

当日は、コロナ禍の中にも関わらず150名もの参加があり、訓練では自分自身や家族、区民全体の安全を確認し「来て・見て・体験できる」住民体験型の訓練で自身ができる防災活動が強化されたと共に地域として地元企業と連携し、地域の防災力向上が図られた。



実は危険がいっぱい! だけれど

愛すべき我らの小泉町

Q:小泉町ってどんなところ?

A:小泉町は東西に広がっており、日野川、和田川など
いくつもの川に囲まれています。
田んぼも多いので、大雨の影響で水かさが増すと道路との境目が
わかりづらく、避難時は非常に危険です。
特に河川の近くの班は早めの避難が必要です!

今後の活動予定

マップ配布後、近い班で集まって親睦会をする(意見交換会)
タイムラインを班ごとに作成
みんながライブカメラをみれるよう、アプリインストールの推奨
アプリインストールだけでなく、使い方の指導
ほしいもののリストを作成し、計画的に防災グッズを購入

災害時役立つサイトのQRコード



消防団活動マップ

避難経路マップ

小泉町



小泉町マップ作りの感想

現実的な学びの機会は大変有益だった。

実際に歩いてみて危険箇所を自分の目で見てよかった。

普段、自転車でもかからない道が多い町内です。

防災意識が高まった。

消火器の場所がわかってよかった。

参加してよかった。まだいろいろなことがあると思うが
次回、よりよい練習などでレベルアップをと思う。

大雨が降っていても仕事中は雨の音で気づけないこともあり
家族に避難するように、との電話することもできないので
市役所から企業に働きかけてもらいたい。

みんなと歩いてみて
改めて自宅からの避難の難しさを痛感した。

マップが配布されたら家族にみてもらおう。

最近の異常気象でいつ、どのような災害が起きるかわからないので
今回参加して防災意識が高まってよかった。

「正しく怖がること」がいい事なんだと思った。
小泉町は水害が起きたら逃げ場がないこと
早めの避難が大切なことが分かった。

奨励賞

鯖江市小泉町自主防災組織委員会